

平成 28 年 12 月 18 日

処方せん応需薬局 各位

三重大学医学部附属病院長 伊藤 正明
薬剤部長 奥田 真弘
医療情報管理部部長 富本 秀和

当院の院外処方せん様式の 1 回量処方への変更について

平素より、当院発行の院外処方せんを応需いただきありがとうございます。

ご承知のように、平成 22 年 1 月に厚生労働省から「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会」の報告が発出されています。今回、当院の医療情報システムを全面的に更新するのに合わせて、平成 28 年 12 月 26 日より院外処方せんを報告書に準じた様式に変更します。

主な変更点は、内服薬の用量を「1 日量」から「1 回量」に変更すること、及び散薬、水薬の処方量に【製剤量】か【原薬量】を明記することです。記載例をいくつかのパターンとして下記に示しますのでご確認ください。特に不均等投与の場合、1 回量が表記されずに「不均等」と印字されるなど、報告書とは異なる表記になる場合があることにご留意ください。なお、医師は処方オーダー入力時に、1 回量及び 1 日量を確認可能な仕様になっていることを申し添えます。

ご理解ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

【 記 載 例 】

- ・内服薬の用量が「1 日量」から「1 回量 (1 日量)」に変わります。

例：ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg 「CH」 1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
1 日 3 回朝昼夕食後 14 日分

- ・不均等の場合、「不均等 (1 日量)」と表記され、下段に服用タイミングごとの服用量が表記されます。

例：アキネトン錠 1mg 不均等 (1 日 2.5 錠)
1 日 3 回朝昼夕食後 14 日分
朝 1 錠、昼 0.5 錠、夕 1 錠

- ・連日服用ではない場合 (隔日投与など)、日数 (実投与日数) に加え、服用日が曜日で表記されます。

例：バクタ配合錠 1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
1 日 1 回朝食後 6 日分 (実投与日数)
月水金曜日に服用

- ・全量処方の薬剤 (外用剤、注射剤など) は、「(全量) ○本」と表記され、1 回量は用法の一部として表記されます。

例：フォルテオ皮下注キット 600 μ g (全量) 2 本
1 日 1 回 朝 20 μ g

※変更開始日：平成 28 年 12 月 26 日 (新医療情報システム運用開始後の外来稼働初日)

問い合わせ先：三重大学医学部附属病院(代)059-232-1111
薬剤部 薬務室 (内線 5331)、医療情報管理部 (内線 5218)